



↑ふぐコースは前もっての予約制。てっさはマスターおすすめの塩ポン酢で。



↑ふぐコースの「ティックアワ」の一部。自宅でふぐのフルコースを頂く事ができる。



「僕はボーカリストじゃなくて、指揮者みたいな役割なんでしょうね。まあ、皆さんここに座つたら皆でわーわーやりましょうって、そんなんじ」

店主の芦口剛さんはカウンターや天井されたお客様同士を繋げるのが好きだという。食べたい人は食事を。おつまみが欲しい人はおつまみを。お酒やお料

理の運営異合によりモバイリングを何ひながら、お客様に喜んで貰ったメニューを出すようにしているところ。
ひるが屋さんのメインは「おまぐれコース」。その日仕入れた新鮮な食材で作る文字通り「おまぐれ」で内容が変わるおまかせ形式のコースだ。

計画を練るのが好き

芦口さんは計画を練る事が好きだという。現在のキッチンカーも稼働しているひるが屋さんだが、むづ身が学生時代に被災地に物資を届けに行った経験から以前から計画をしていたものだそうだ。冬の被災地を間近で見てきた事は相当な衝撃を受けた。確かにものがその場で出せればと、そして「今の状況が動くタイミングだった」と語った。

